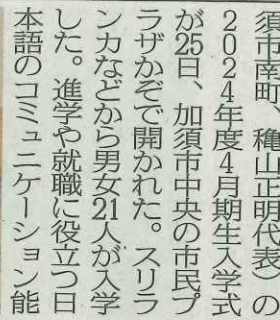


スリランカなどから21人

加須で日本語学校入学式

KJS東京日本語学校(加須市南町、穂山正明代表)の2024年度4月期生入学式が25日、加須市中央の市民プラザなどで開かれた。スリランカなどから男女21人が入学した。進学や就職に役立つ日本語のコミュニケーション能力などを学ぶ。



同校は21年9月の開校。入学式は1年半コース、2年コースから選ぶ。新入学生はスリランカから11人、インドネシアから4人、ネパールから2人、ベトナムから1人。ほかにブラジルなどから聴講生3人。在校生は合わせて67人になった。

コロナ禍もあって入学者が一時伸び悩んだが、回復してきたという。藤原拓也校長は「皆さんの入学をうれしく思う。日本を、埼玉県を、加須市を、そしてKJS東京日本語学校を大好きになってほしい」と歓迎した。

在校生を代表して2年生のスリランカ人、ハーシユ・ラトナヤケさん(27)が上手な

日本語で、「1年たって、私は日本語が上手に話せるようになった。新入学生のみなさん、頑張ってください」とあいさつした。

来賓の角田守良市長は「加須市内には約3500人の外国人が生活している。市ではさまざまな支援もしている。新入学生の皆さん、人の役に立つ立派な人になってください」と激励した。入学式後半には5分間の「加須市PR動画」も上映した。

(江利川義雄)

伝統とは何かを学ぶ リーダース研修開催

坂戸西高と城西大

各部活動のキャプテンや生徒会委員などにリーダーシップを身に付けてもらうこと、県立坂戸西高校(坂戸市四日市場、横瀬元広校長)は11日、城西大学経営学部マネジメン



生徒たちを激励した講師の柴沼真教授(坂戸市四日市場の県立坂戸西高校)

校に招いて最終回となる「第3回リーダーズ研修」を行った。県教育局県立学校部高校教育指導課が行う高大接続授業の一環。

部活動が新チームに代わった昨年7月の第1回は、グループマネジメントやコミュニケーションについての理論や実践方法などのベシック編を学習。昨年12月の第2回は経験を踏まえた上

パリの風景を水墨画で表現し

くのノダナガフジを讀つても

(桜井和憲)

ど、加須市の魅力を知って

当番医

- 【川越】西川病院(精神科) ☎246・0011▽市医師会夜間休日診療所(内・小児科) ☎222・3330▽市予防歯科センター ☎224・38891
- 【坂戸】坂戸鶴ヶ島医師会立休日急患診療所(内・小児科) ☎289・1199▽坂戸中央病院(内・外・整形外科) ☎283・0019
- 【鶴ヶ島】坂戸鶴ヶ島医師会立休日急患診療所(内・小児科) ☎289・1199▽関越病院(内・外科) ☎285・316
- 【越生・毛呂山】埼玉医科大学病院 ☎276・1465
- 【朝霞】たきやま小児クリニック(アレルギー科) ☎048・477・8620▽ひざと腰の整形外科(リハビリテーション科) ☎048・424・8399
- 【富士見・ふじみ野・三芳】

県北・県西

本社 さいたま市北区吉野町2128213
編集局 TEL 048・7955・9161
FAX 048・653・9040

県北 熊谷市宮町211222
支社 TEL 048・5221
FAX 048・5221